

せいしれん News

2019年 夏号 (6月・7月)

編集・発行：せいしれん

発行責任者：中村 美恵子

事務局：一般社団法人 しょう

住所：〒389-0804

千曲市大字戸倉 1770 番地 1

TEL:026-274-5184 Fax: 026-274-5185

発行日：令和元年 7 月

平成から令和へ 2019年度がスタート

令和元年 6 月 1 日、第 28 回の定期総会を迎え、平成 30 年度の事業及び会計報告、令和元年度の事業計画および予算案、役員改正について承認を受け、2019 年度がスタートいたしました。

講演会は、千曲市精神障害者家族会役員及び千曲・坂城地域自立支援協議会運営委員等をされている小瀧廣氏を講師に迎え「家族の立場から障害者の地域支援を考える～人が人を支えている～」をテーマにお話をお聴きしました。22 年間息子さんを家族で支え、この間家族会へ入会。さらには、千曲市の障害者計画策定委員への応募。自立支援協議会への参加。そして息子さんは亡くなる 5 年前には脳梗塞を発症するなど三重苦の重い障がいとなり、41 歳で他界されました。自立支援協議会の部会長として、病院ではなく地域で暮らすためには、どんな方策があるのか、提言をまとめられました。



最後に述べられた①支援の目標は「希望を失わない」②支援の配慮は「対等な態度」を家族の体験から心がけたいとの事でしたが、このことはサポートする側にもところに深く入ったのではないのでしょうか。それと同時に、せいしれんの旧称は「長野県精神障害者地域生活支援連絡会」でした。せいしれんとしても、地域生活を支援することは、地域で暮らす仕組みづくりを考えていくことなのだ、小瀧さんのお話を聞きながら、改めて考えさせられました。ありがとうございました。

2019 年度の役員体制で、事務局が飯田市の『バオバブ』の小倉さんから、千曲市の『しょう×ちくま』の、牧さんに事務局長、上野さんに事務局次長をお願いすることになりました。また、『そよ風の家』の三溝さんから押田さんに交代となり、「絆の会」も羽田さんから阿部さんに交代となりました。小倉さん、三溝さん、羽田さんお疲れさまでした。牧さん、上野さん、押田さん、阿部さんよろしくお願いいたします。

平成 4 年からスタートいたしました、せいしれん活動を令和につなぐことができ、会員数は横ばい状況ではありますが、方針にも掲げました『当事者主体の支援』と『働く職員の支援』を、せいしれんの役割の中にしっかりと位置づけ、さらには旧優生保護法、障害者雇用、身体拘束等の社会で起きている出来事に対しても、目を向ける必要があるかと思えます。そのためにも、正しい情報発信をしながら、あたりまえの暮らしが実現できるよう他団体と連携し要望活動にも取り組んでいきたいと思えます。

特に旧優生保護法がもたらすものは、過去の出来事ではなく、その根底にある人権侵害が、障害者を取り巻く環境に潜み、今この時も差別や排除が無くならない事です。

今年度も障害者権利条約の「障害者の権利を守る・保障する」このことを念頭に入れながら、役員一同せいしれんの活動を進めてまいりたいと思えます。

せいしれん会長 中村美恵子

令和元年（2019年）6月1日開催 せいしれん定期総会及び講演会

○令和元年（2019年）度の取り組み、主な事業計画

昨年度の取り組みとしては、事業所間のつながりを大事に、課題を抱えている事業所や当事者の声を拾い、必要に応じて要望活動を行う、また、情報発信をしていく等の活動方針のもと、事業をすすめてまいりました。

昨今、発達障がいを理解されないまま生きづらさを抱え、その結果、二次障がいとして精神疾患を患う方が増えていることから、発達障がいの当事者の方からお話をお聞きする機会を設けられたことは、今後さらなる周知や理解を広めていく必要性を強く感じました。

今年度については、普及啓発はもちろん、他団体との連携、交流も行いながら、障がいのある方、無い方すべてが、あたりまえの暮らしを実現できるよう活動をすすめていきたいと思えます。主な事業計画は次の通りです。大勢のご参加を待ちしております。

- 令和元年6月～令和2年3月 若者向けバリアフリー事業（長野県委託）
- 令和元年8月31日 夏期研修
- 令和元年10月～11月 県との懇談・要望
- 令和2年3月6日、7日 精神保健福祉セミナー

せいしれん事務局長 牧 千秋

○退任された役員からのあいさつ

2年間、せいしれんの役員を何年かぶりにやらせていただき、事務局も1年しました。大変お世話になりました。たいしたことができず、申し訳なく思っています。当事者中心の会活動という理念はすばらしく、これからも引き継いでいって欲しいと思いますが、ただ活動がマンネリ化しているの、会員のニーズにあわせて、変えていったらどうかと思います。ありがとうございました。

オープンハウスパオバブ 小倉 高広

3年間、会計を担当させていただきましたが、この度、役員を退任させていただくこととなりました。会員施設の皆様にはせいしれんの活動はもちろん、それ以外においても相談に乗っていただいたり、アドバイスを頂くなどたくさん助けて頂くことができました。また、県内各地、皆それぞれの場所で頑張っていらっしゃる事が励みにもなりました。せいしれんでの出会い、学びをこれからの職務の中でまた生かしていきたいと思えます。お世話になりました。お元気で・・・。

社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会 そよ風の家 三溝 育子

○新任された役員からのあいさつ

今年度より事務局長を仰せつかりました。このご縁を大切に、会員のみなさまはもちろん、せいしれんの活動全体もサポートさせていただければと思っております。力不足とは思いますが、みなさまと一緒に進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

一般社団法人 しょう 牧 千秋

今年度より事務局次長をさせていただくことになりました。せいしれんの各活動が円滑に行われるよう務めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人 しょう 上野 隆一

今年度より役員を務めさせていただきます。

分からないことだらけですが、皆様の力をお借りしながら精一杯頑張りたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

社会福祉法人絆の会 信州そば工房きずな 阿部 志歩

今年度より役員を務めさせていただきます。

初めての経験です、皆様に教えていただきながら、頑張りたいと思っております。

社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会 そよ風の家 押田 博

○講演会について

演題 『家族の立場から地域支援を考える～人が人を支えている～』

講師 小瀧 廣 氏 (千曲市精神障害者家族会役員、千曲・坂城地域自立支援協議会運営委員など)

～講演を聞かれた方からの声～

当時の時代背景も踏まえながら、小瀧さんの息子さんが診断を受けた時のご様子、他の病気を併発し亡くなるまで車いす・ベッドで過ごしてきたこと、親として向き合い、息子さん亡き後も継続して社会に発信してこられたこと等をお聴きしました。

「地域で生活をしていくことのできる資源を整えていかねばならぬ」と奮起され可能性を信じあきらめずに前進。

家族会に参加し始めたのが70歳頃からというのは驚きで

した。千曲市障害者計画の策定委員をはじめ、様々な葛藤を抱えながらも一つ一つ地道に取り組んで来られた小瀧さんの道のりは、決して順風満帆なものではありませんでした。中でも当事者の方の「絶望感」と一方での「生きるための模索」というお話が、私にはとても印象的でした。『希望を失ってしまわないような支援』の姿勢は大事ですが、難しいと感じる事もあります。そのエネルギーはどこから来るものなのかという質問に対し、『(大事な家族が)生きていたらどうなっていたか』を小瀧さんは考えていると答えられました。障がいのある方が「地域で生活していく」ために、自分たちにはなにができるだろうかと問う姿勢を私も持ち続けたいと思っております。貴重なお話をありがとうございました。

千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター 東條 陽子



この度は、ご家族のお立場から活動されている貴重なお話を伺うことができ誠にありがとうございました。残念ながら今はお亡くなりになってしまった息子さんを主治医からは病院での生活を勧められながらも住み慣れた地域で暮らせないか、重い障害を持った人でも地域で暮らせるよう資源やサービスを充実させなければという思いを強くもち又、実践されて来たことに深く感銘を受けました。

「隠れていては社会に訴えることはできない」家族が自ら声を訴えたことで、人と出会いや関りがあり、今回のテーマにある～人が人を支えている～ことを改めて認識させていただきました。小瀧様の活動とても

エネルギーであり、そのエネルギーは息子さんがいなくなって 10 年たつが、自分の内部に生きており「しっかりしろ」言われていることと家族会で苦労されている皆様方のお話を聞きして頑張らねばと思うそうです。こころ優しい小瀧様これからも色々とお話しただければと思います。お話しいただいたことを我々のエネルギーにさせていただき益々頑張らねばと思いました。余談にはなりますが、毎年の精神保健福祉セミナーにご協力をいただいております。今年度も宜しくお願い致します。ありがとうございました。

社会福祉法人長野市社会事業協会

障害者福祉施設 すまいる 五明 一雄



○○○会員施設紹介○○○

社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会 就労支援B型事業所 みどりが丘

平成29年6月1日 塩尻市社会福祉協議会が運営する、就労支援事業所（B型）みどりが丘が開所しました。「利用者の思いに寄り添い、笑顔で働くことができる環境を整えること」、「作業を通じて働く力と可能性が伸びるよう支援していくこと」を当面の目標としました。

障がいの有無に関係なく、地域のみんがが幸せに暮らせるよう、事業に取り組んでいきます。

施設外作業として福祉施設や行政機関等での清掃業務、食堂フロア業務をはじめとして、農福連携事業にも取り組んでいます。

また、箱折り、仕分け、封入作業などといった企業からの受託作業も増えてきています。

『みどりが丘で働いてみたい!』『話を聞いてみたい!』と言った方はお気軽にご相談ください。

問い合わせ 0263-31-0960 お待ちしています。

作業の様子



社会福祉法人絆の会 就労継続支援B型事業所信州そば工房きずな

長野市にある『信州そば工房きずな』ではその名の通り、そばの製造を中心に人の目でその日ごとの状態を確認しながらぬくもりのある製品作りをしています。

立ち仕事の多い製造現場は大変ですが、働いている1人ひとりが責任と誇りをもち仕事に取り組んでいます。

季節に合ったギフトの発送もっており、今年の夏は『生冷麦』を中心としたギフトをご用意いたしました。こだわりの原料と製法による“安心・安全”でおいしい麺を是非一度ご賞味ください。

『おそばを注文したい!』『もっと事業内容を聞きたい!』と言った方はお気軽にご連絡ください。



問い合わせ 026-263-9788 お待ちしています。

Information ~ インフォメーション ~

精神障がい者スポーツ大会報告

各地区上位8チームが9月8日(日)松本市で行われる県大会への切符を手に入れました。今年も熱戦が期待されます。

(★マークのチームが県大会出場)

ソフトバレーボールの部

- 【北信】優勝 Rainbou 絆(絆の会) ★
準優勝 つばさ(栗田病院デイケア) ★
第3位 マイペースさくら(さくら会) ★
Grue~en~ciel(鶴賀病院) ★
第5位 Rindou(ライフサポートりんどう) ★

- 【東信】優勝 リリカルハイキュー佐久 ★
準優勝 なごみの会

- 【南信】優勝 こころの医療センター駒ヶ根デイケア★
準優勝 コスモス会(諏訪湖畔病院デイケア)★
3位 なごみ家さくら
4位 はらっぱのレストラン

(中信地区は参加チームがなく中止となりました。)



2019年 夏期研修会のご案内

～ ライフステージにおける発達障がいのある方への関わり方と事例 ～

発達障がいを理解されないまま生きづらさを抱え、その結果二次障がいとしての精神疾患を患う方が増えています。学童期、成人期の発達障がいをお持ちの方、また、その人を知る（アセスメント）の視点について学びます。

日時： 令和元年8月31日（土）10時～15時30分

対象： 精神障がいをお持ちの方、発達障がいをお持ちの方の支援に関わられている方（特に経験年数5年未満）

場所： 松本市庄内地区公民館 松本市出川1丁目5-9

申込： 一般社団法人 しょう 担当 牧

電話 026-274-5184 FAX 026-274-5185

メール info@show-nagano.jp ※申し込みはなるべく、メール、FAXをお願いします。

参加費 せいしれん会員300円/1人 せいしれん非会員500円/1人
(午前、午後、1日、参加日程にかかわらず) ※当日会場で徴収

定員： 50名 (申込み多数の場合は、せいしれん会員を優先に先着順)

申込締切 令和元年8月20日 まで

※ 申し込み、詳細については、別紙開催要項を参照ください。

研修内容

10時～ 学童期における発達障がいのある方への関わり方

11時～ 成人期における発達障がいのある方への関わり方

12時～13時 お昼

13時～15時30分

アセスメントの視点と個別支援計画の作成の仕方

講師：NPO法人障がい者雇用支援ネットワークながの